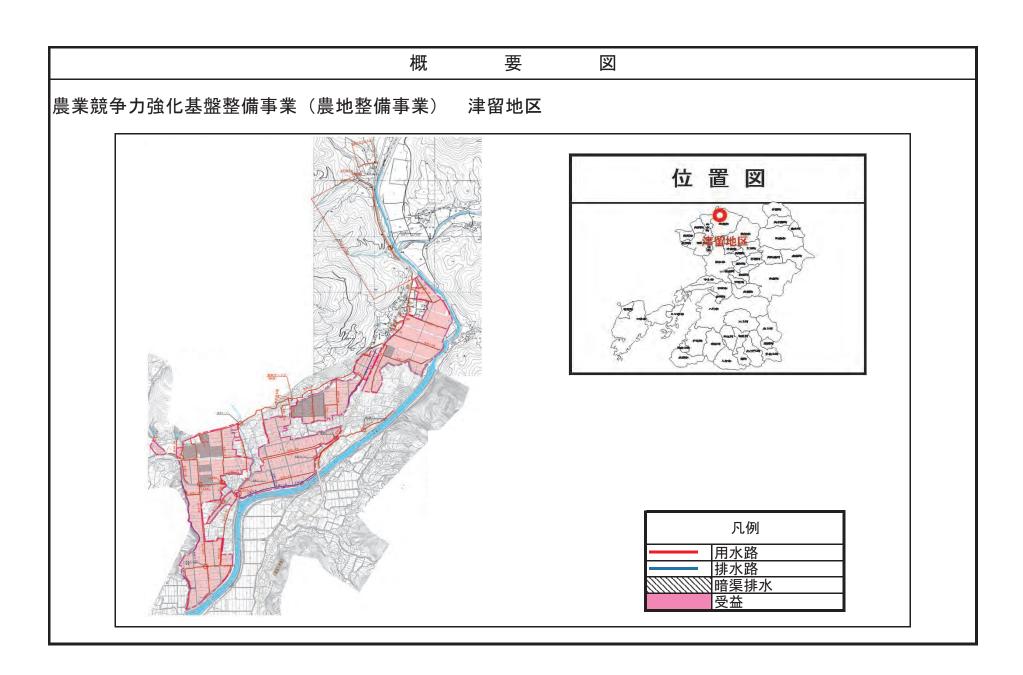
事 業 名	農業競争力強化基 農地整備事業	地区名	っる 津留			
関係市町村	熊本県山鹿市	事業主体	熊本県			
事業目的	本地区は、山鹿市北側に位置する平坦な水田地帯である。昭和44年からの県営圃場整備事業山鹿地区により、1区画30aで整備済みであるが、用水施設の老朽化による漏水等により、用水不足が発生している。また、未整備の排水路においては、堆積土が多く断面阻害している。さらには、一部の農地において、残留水の滞留時間が長いことから汎用化が図れない状況にある。このため、本事業で農業水利施設を整備し、維持管理費の低減を行い、中心経営体への農地集積を加速化させ、営農コストを低減させると共に、安定的な営農の継続を図り、本地域の農業競争力の強化を図るものである。					
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費		エ	期
	94ha	220戸	1,066百万円 平成28年~平成		平成33年度	
	主要工事	・用水路 19km ・排水路 2km ・暗渠排水 9ha				
	関連事業	該当なし				
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C		算定	方式
	2,922百万円	966百万円	3. 02		総費用総値	更益比方式
概要図	別添のとおり					

出典:津留地区土地改良事業計画概要書(熊本県農林水産部農村振興局農村計画課作成)

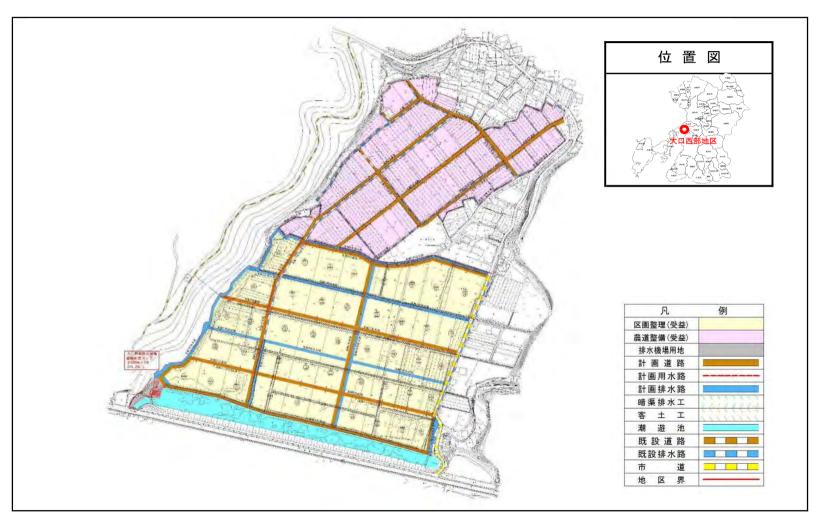


事業	と 農業競争力強化基 農地整備事業	地区名	まおくちせいぶ 大口西部		
関係市町村	村 熊本県宇城市		事業主体	熊本県	
本地区は宇城市の南西部に位置し八代海に面した干拓地であり、主要な農作物は柑橘類である。 地区内の農地の区画形状は 10a~20a 程度であり、農道は狭く離合ができず、力路は用排兼用となっている。また、低平農地であるため排水性が悪く、地区の関側では湛水等の影響により休耕地が多くみられ、畑作物等の導入に支障をきたし、効率的な営農ができない。 このため、本事業により区画整理と併せて農道を整備することにより、農業生産性の向上を図り、併せて担い手農家へ農地を集積することで、農地の高度利用を推進し、本地域の農業競争力の強化を図るものである。					
	受益面積	受益戸数	総事業費	t .	工期
	22ha	79 戸	1, 180 ī	百万円 平成	28~37 年度
事業概要	主要工事	・区画整理 14ha ・農道 2km			
	関連事業	該当なし			
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C	算定方	式
	1, 121 百万円	947 百万円	1. 18	総費用	総便益比方式
概要図	別添のとおり				

出典:大口西部地区土地改良事業計画概要書(熊本県農林水産部農村振興局農村計画課作成)

概 要 図

農業競争力強化基盤整備事業(農地整備事業) 大口西部地区

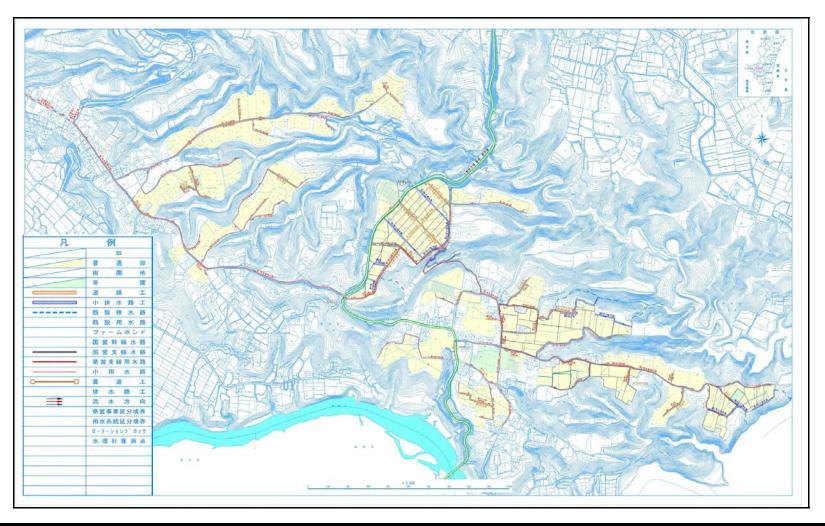


事 業 名	農業競争力強化基 ^療 農地整備事業	盤整備事業	地区名	かわま ひがし 川間 東		
関係市町村	宮崎県小林市		事業主体	宮	崎県	
事業目的	本地区は、小林市の東側に位置し、里芋、ごぼう、メロン、ピーマン、飼料等で中心とした営農がなされている。 中心とした営農がなされている。 地区内の基幹水利施設は、現在、国営かんがい排水事業により整備されているものの、末端の畑地かんがい施設は未整備であることから、干ばつ被害を受けやする不安定な農業経営を強いられている。 このため、本事業により国営かんがい排水事業と一体的に末端の畑地かんがい放設の整備を行うことにより、農業の生産性の向上を図り、本地域の農業競争力の強化を図るものである。				、飼料等を れているすく かんがい施 競争力の強	
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費			期
	78ha	130戸	1, 338百万	万円 平成28~34年度		
	主要工事	・畑地かんがい 18k ・区画整理 26k ・農道 1k	KM 1a KM			
	関連事業	・国営かんがい排水事業 西諸地区				
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C 算定力		方式	
	2,605百万円	2,094百万円	1. 24		総費用総例	更益比方式
概要図	別添のとおり					

出典:川間東地区土地改良事業計画概要書(宮崎県農政水産部農村計画課作成)

概 要 図

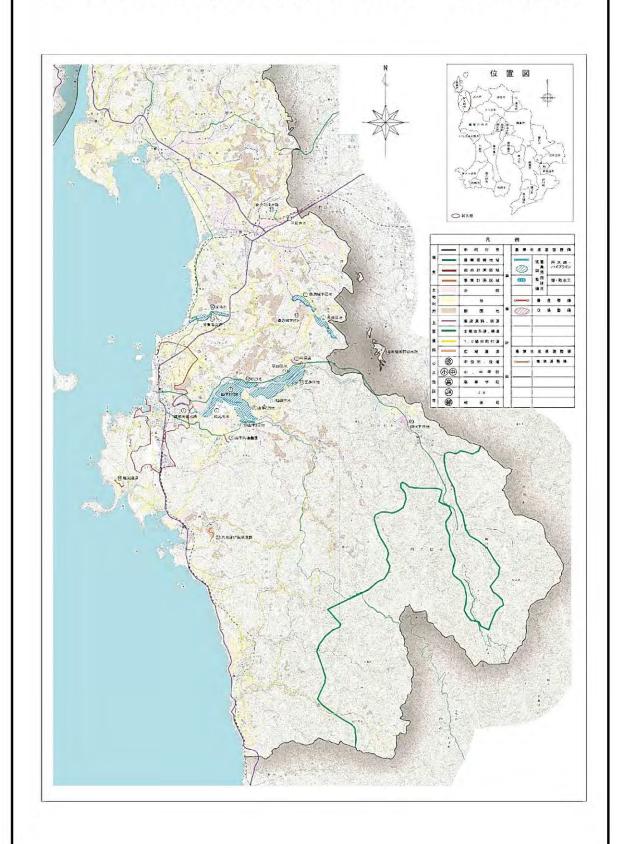
農業競争力強化基盤整備事業(農地整備事業) 川間東地区(全体)



事業名	農業競争力強化基盤整備事業 農地整備事業		地区名	あ く ね なん ぶ 阿久根南部	
 関係市町村 	鹿児島県阿久根市	事業主体	鹿児島		
事業目的	では、 大し高ばことではしている。 大し高ばことがやこに件図ではし者すあすと、 を懸農ことのではしる。 大し高ばこ基がでこに件図では、 大し高ばこ基がでいた。 大し高ばこ基がでいた。 大し高ばこ基がでいた。 大し高ばこ基がでいた。 大し高ばこ基がでいた。 大し高ばこ基がでいた。 大し高ばこ基ができた。 大し高ばことができた。 大しのでは、 大しのが、 大しのが、 大しのが、 大しのが、 大しのが、 大しのが、 大しのが、 大しのが、 大しのが、 大いが、 、 大いが、 大いが、 大いが、 大いが、 大いが、 大いが、 大いが、 大いが、 大いが、 大いが、 、 大いが、 大いが、 大いが、 大いが、 大いが、 大いが、 大いが、 大いが、 大いが、 大いが、 大い	市の中地域では、水色では、水色では、水色では、水色では、水色で、水色で、水色で、水色で、水色で、水色で、水色で、水色で、水色で、水色、水色、水色、水色、水色、水色、水色、水色、水色、水色、水色、水色、水色、	和 和 和 和 和 に き も に き も に き も に き も に き も に き も に き も に き も に も に も に も に も に も に も に は と と は に も に も に は に も に に も に に も に に に に に に に に に に に に に	作場が地の 区を図を業体域農 画推り	主体とした営農が行われ 生体と性を構がありる。 生産基畑傾にありる。 とが増加興に影響を手 と業積を行い、担い と生 を理や用水整備等を行う を理やことで とす本地域の農業競争力の
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	ŧ	工期
	139ha	987戸	1, 276百万	······· 万 円	平成28~35年度
	主要工事	・区画整理 ・農業用用排水路	6 ha 27km		
		 ・農道	2 km		
		・農業集落道	1 km		
	関連事業	該当なし			
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C		算定方式
	2, 117百万円	1,616百万円	1. 30		総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり				

出典:阿久根南部地区土地改良事業計画概要書(鹿児島県農政部農地整備課作成)

農業競争力強化基盤整備事業(農地整備事業) 阿久根南部地区



	曲坐並在上347.甘商	n 赤			
事 業 名	農業競争力強化基盤	A. 经偏争 来	地区名	*************************************	
	農地整備事業	也整備事業			
関係市町村	鹿児島県霧島市		事業主体	鹿児島県	
事業目的	本地区は鹿児島県	具本土のほぼ中央にあ	る霧島市のは	比部に位置している中山間地域	
	である。本地域の基	基盤整備状況について	は、中山間は	也域特有の条件不利地による未	
	整備区域のため大型	型機械による営農に支	障をきたして	ており,また,既存の土地改良	
	施設の維持管理に多	多大な労力を要してい	る。そのため	か、農業就業者の高齢化や離農	
	による農業人口の源	域少が進み,耕作放棄:	地の急速な地	増加,水源涵養等の中山間地の	
	多面的機能の低下が	が懸念されており, 早	急な改善対策	策が必要である。	
	このことから本乳	事業を導入し, 区画整	理や用水整値	#等を行うことで,営農の大型	
	機械化による効率的	りかつ安定的な農業経	営を進めると	とともに,地域の担い手農家へ	
	の農地集積と規模扱	広大を推進することで	中山間地域	域の条件不利地を解消し地域農	
	業の振興と活性化を図り、本地域の農業競争力の強化を図るものである。				
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	土 期	
	115ha	609戸	1, 392百7	5円 平成28~35年度	
	主要工事	区画整理 4	1ha		
		・農業用用排水路 2	km		
		・農道 3 km			
		・暗渠排水 6ha			
	関連事業	該当なし			
費用対効果	B:総便益	C:総費用	B/C	算定方式	
	2, 420百万円	1,684百万円	1. 43	総費用総便益比方式	
概要図	別添のとおり				

出典:北霧島地区土地改良事業計画概要書(鹿児島県農政部農地整備課作成)

